

令和2年7月
第408号

公民館前の道路にある消火栓

広報

お

お

く

て



おもな内容

- ・一年生になって … p 2
- ・大湫での自粛生活 … p 3
- ・元気の基本はお口の健康から … p 4
- ・お盆について … p 5
- ・丸森だより … p 6
- ・大湫のミライ総合計画プロジェクト … p 7～8
- ・集まろう会
- ・お知らせ



**お休み処の五平餅
営業再開しました**

一年生になつて

あきやま ちほ

よごとおもいました。がんば

ります。

よろしくおねがいます。

とまどまきよしじえんがこ

いしくなります。

まだちーちゃんにはしょうが

っこうははやいんじゃない

か？そしておもっています。

まだちーちゃんはなねずにド

キドキしています。

いまはがっこうでたのしかつ

たことはありません。でもこ

れからたのしいこともみつけ



「大湫での自粛生活」

三戸 由梨奈

新型コロナウイルス対策の為、三月二日から小学校が休校になり、四月十四日から幼児園が休園になりました。

共働きの為、こんなにも長くずっと一緒の時間を過ごすのは、子ども達が赤ちゃんの頃以来でした。

季節が春だったので、家から出ればすぐに春見つけ。虫を追いかけたり草花でおままごとをしたりしました。幸いにも大湫の公園は閉鎖されていなかったなので、公園へも行けました。

若竹屋まで自転車で行く途中に雨が降ってきて、大きな木の下で雨宿りしました。

大湫だからできた事がたくさんありました。

お友達にも会えない、普段と違う生活で子ども達は不安もあったかと思いますが、大湫の環境のおかげで楽しさも少しはあったのではないかと感じました。

休校・休園期間が終わり、慣らし期間を経て徐々に通常に戻りつつあります。

小学校や幼稚園から帰ると楽しかった事を話してくれます。

新型コロナウイルスの不安が無く

なる日を願うばかりです。

子供達が、元気で笑顔で毎日を送れるよう願っています。

子ども会役員のご紹介

育成会長	宮地 彩香 さん
副会長	三戸 由梨奈 さん



元気の基本は、お口の健康から

“ひよも”スタッフ一同

6月3日に高齢者出前講座の歯科衛生士さんによる「口腔ケア」が行われました。

「みなさんの、口腔ケアは、ばっちりです。」アンケート用紙を見られた澤田歯科衛生士さんに、お褒めの言葉をいただきました。

これも、高齢福祉課(当時包括支援センター)のお陰です。六年前、今回のように歯と口の健康週間に合わせて、堀田・小木曾両係長さんから口腔ケアのお話をしていただきました。当時では



まだめずらしく「お口の体操・唾液腺マツサージ」の指導もいただきました。それから、会の始めは、この「お口さわやかエクササイズ」からでした。『継続は力なり』真面目な方々ばかりなので、各家庭でもやられているのでしょうか。その成果でしょう。今回は、こういうご時勢で、三密回避のルールの中での講座でしたが、「楽しかった」「改めてよくわかった」

ハブラシ・歯磨き粉もいただきました
うれしい!!。



「歯をいつまでも大切にしたい」「みんなに会えてよかった」と言ってお帰っていただきました。

人生百年、新しい生活様式を構築していく中で、健康維持をし日常生活を少しでも戻すきっかけの一つになったような気がしました。



この時期に講座開設のお声をかけて下さった高齢福祉課の担当者の方々そしてご協力いただきましたコミュニティの職員の方々に心よりお礼申し上げます。

お盆行事について

宗昌寺住職

お盆の行事は、お釈迦様によって、インドではじまりました。やがて中国に伝わり、唐の時代に入り広く行われるようになりました。

日本での歴史は古く、推古天皇の時代（六〇六年）に斎（とき）を設けたのが始まりとされています。やがてそれぞれの地域性をもちながら私たち日本人の心とくらしの中に根を下ろしました。

お盆は正しくは「盂蘭盆（ウラボン）」といます。インドの古い言葉で「ウランバーナ」というのが語源です。

ウランバーナとは「逆さに吊るされた苦しみを受ける」という意味で



す。

お盆の由来は「盂蘭盆経」がもとになっています。それによると、お釈迦様の弟子の目連さまが「餓鬼道」に堕ちて苦しんでいる母を救うため、お釈迦さまの教えのとおり、十方の僧侶を招いて供養した。その功德によって、母は餓鬼道から救われた。とされております。そこから転じて、安らかな世界を念じ、死後の幸福を祈る慣わしとなったのです。

お盆に行われる習慣の一つに「迎え火・送り火」があります。迎え火は十三日の夕方、家の門口で火を焚いてご先祖さまの霊を招くものですが、「おがら」と呼ばれる麻の茎や麦わら、松の割り木などを使って

迎え火をします。また、お盆を迎えたご先祖さまが再び仏の世界に帰って行くとされる十六日には霊を送るための「送り火」をします。地域によっては、迎え火と送り火をお墓の前で行う所もあります。

お盆には、ご先祖さまをお迎えするための盆棚（精霊棚）を祀り、旬の野菜や果物を供え物としてお上げしたり、ご馳走をつくってお供えます。そんな中で、きゅうりの馬や茄子で牛を作って霊前に飾ったりします。

この習慣は、馬は一刻も早くご先祖さまをお迎えしたいという心の現れであり、茄子の牛は、お土産をいっぱい積んで出来るだけゆつくりとお帰り下さい。という気持ちの形にしたものです。

6月の丸森だより

6月の来訪者

新型コロナウイルス感染予防のため4月から休館していた丸森ですが、

国の「緊急事態宣言」解除に伴い、6月1日を以って再開館いたしました。

連絡先の確認、マスク着用、3密の防止、手指の消毒等、「新しい生活様式」の下でコロナ対策には万全を期した上での再開でしたが、来訪者は例年の半分以下に止まりました。

町 外		町 内		合 計	その内 (外国関係)
大人	幼小中	大人	幼小中		
149	5	52	0	206	4
		R2,4月～	303人	オープンから	31520人

6月の企画・展示



竹細工による大湫宿町並み模型の展示

再開館いたしました丸森は、三戸憲和氏(神田区)による竹細工による宿場の町並みの再現模型を展示しました。2月からの継続展示でしたが、来訪者にも好評でした。

竹の素材を知り尽くし、細部まで意をめぐらした精細な手業には目を見張るものがあり、往時の大湫宿の面影が生き生きと甦ってきます。

7月の企画・展示(予定)

夏の風鈴祭り

* 期間・・・ 7月～8月

* 内容・・・ 今年も猛暑の季節がやってきました。夏は涼風が通る丸森ですが、ヒグラシの鳴き声にそよぐ風鈴の音が、さらなるこちよさを誘います。

大湫観音堂御開帳に伴う天井絵等のガイド

* 期間・・・ 7月13日～16日 13:00(丸森集合)～14:00

* 内容・・・ 毎年恒例。7月盆の御開帳に合わせた観音堂のガイド付き案内です。かつて神明・白山神社の大杉と共に、「大湫宿には過ぎたるもの…」と言われた観音堂。精緻な彫刻と建築美、可憐な天井絵の美しさ、笠弘法様や芭蕉の句碑など、見ごたえのある史跡がいっぱいです。
町内の皆様も、”大湫宿の誇り“をぜひ再確認してください。

みんなで作る

大湫のミライ 総合計画プロジェクト 2020

小栗司さん（大湫町コミュニティ推進協議会 会長）



夢づくり地域交付金（ステップアップ事業）の採択を受け「若手のまちづくり担い手による大湫町総合振興計画の策定事業」に取り組んでおります。この活動は大湫をより良くし、これからも住み続けられる町であるためにはどうしたらよいか、活動を通じて町の担い手を育成するとともに、住民の町づくり構想として総合振興計画としてまとめるものです。作り上げた計画・構想は今後の大湫町の自治活動の礎とし、県や市など公的機関に働きかけていきます。

よしやす
足立貴一さん（青年チーム）



大学は県外にでていましたが、卒業後は地元で職を見つけ、生まれ育った大湫町の実家を守る決意で戻ってきました。いま、大湫町に魅力を感じて移住してくる方も増えてきているように思います。ずっと町に住んでいる僕ら世代が、そういった外からの人を受け入れながら、この町をどう過ごしやすいしていくか？と考えていくことは大事だと思っています。この青年チームの活動をきっかけに町の未来を考えていきたいと思っています。

あきら
田村啓さん（青年チーム）



昨年9月より、大湫町に移住してきました田村です。いまは庭師をやっています。昨年から大湫にかよひ、ぼちぼちと米屋を直してきました。これから米屋を起点に庭や暮らしの提案施行を行っていきます。今回青年チームの活動でも米屋を活用してもらい、町の活性につなげればと思っています。私は日吉出身で、自分が育ったような豊かな自然の中で子育てしていきたいと思っています。

当プロジェクトは令和2年度夢づくり地域交付金（ステップアップ事業）に採択され、大湫町コミュニティ推進協議会が管理運営する事業です。実施は一般社団法人サステナに一部業務を委託します。

大湫町総合振興計画策定に向けた

住民アンケートのお願い

皆さんにお配りあるアンケートは私たちが住む大湫町をより良くし、
今後30年のまちづくりの計画にとっても重要でとても大切な情報です。
ご回答いただいた情報は本プロジェクト内のみで使用し、厳重に
取り扱わせていただきます。大変お手間をお掛けいたしますが、
ご協力のほどよろしくお願いいたします。

大湫町コンテ-推進協議会
会長 小栗 司

6月青年チームの顔合わせを行いました。
新型コロナウイルス対策に充分留意し、今後の活動も行てまいります。



6・7月の活動予定

- 6月28日(日) 里山再生支援を行っている 高野雅夫教授のお話を伺います
(名古屋大学大学院環境研究科教授・博士(理学))
- 7月9日(木) 場所: 相屋 7月25日(土) 場所: 米屋 青年チーム活動日

せらしお 2020年
7月の集まろう会

大湫町コミュニティ
推進協議会
集まろう会

☆ 太鼓は.....お休みとします。

☆ ファミリー菜園は...杉浦さん(自然農法の大豆づくり)、
みよしさんはつる物野菜づくりをします。
近々(8月頃)転入される熊谷さんが草刈りの応援をしてくださいます。ありがとうございます。

☆ 「抹茶を楽しもう」やりますよ。

日時: 7月23日(木・祝) 10時~12時

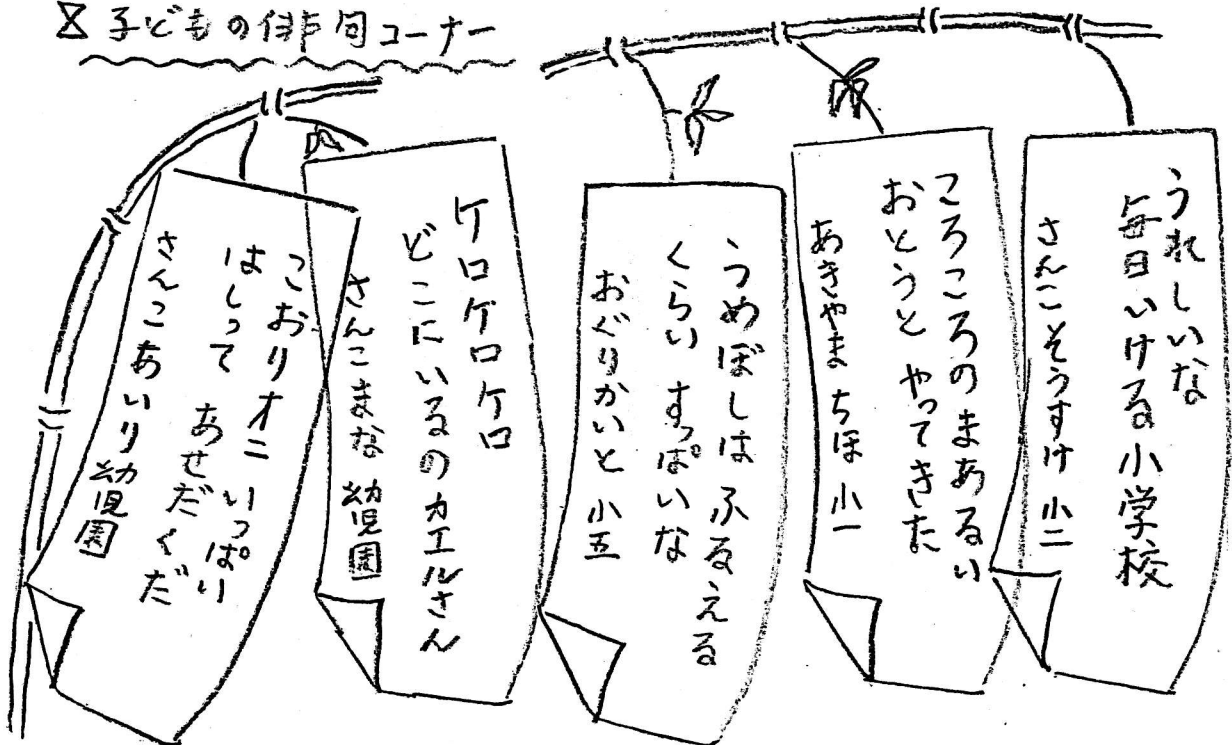
場所: 大湫観音堂前広場

参加費: 大人100円。子どもは無料です。

* 集まろう会は、誰にでも参加OK!! みなさん待っています。



区 子どもの俳句コーナー



夏の公民館講座(予定)ご案内

その1

夏バテ解消！ しそジュースを作ろう

日時：8月3日(月) 9時～11時半 14時～15時

定員：6名先着順 ☎63-2360へ 参加料500円

場所：公民館講堂 持ち物：空のペットボトル飲み物 マスク着用

*おおくて寺子屋*盆踊り練習 本年は中止とします

その2

工 作 教 室

1.行燈作り

8月11日(火)

時間：9:30～11:30

場所：公民館講堂

定員：10名(保護者1名まで)先着順 ☎63-2360へ

参加費：250円 持ち物：タオル飲み物 マスク着用

2.万華鏡作り

8月13日(木)

9:30～11:30

対象：5歳以上中学生まで

感染防止のため定員は厳守します。

また材料準備のため申し込み期日は開催日の一週間前までとします




朝検温のうえ発熱咳等体調不調の方は参加を遠慮願います

環境の変化悪化により突然休講とする場合があります

大湫公民館・大湫コミ (大湫町コミュニティ推進協議会) からの

お知らせ

	<p>リ・アップ “ひよも” だより</p> <p>7月のひよも活動</p> <p>生活安全課出前講座 『防災講話』</p> <ul style="list-style-type: none">・日 時：7月1日(水) 9:30~11:00・場 所：大湫公民館講堂・参加費：無料・内 容：瑞浪防災会による『防災講話』
	<p>おしゃべりサロン『こぶし』(100円コーヒー)</p> <p>当分の間お休みさせていただきます</p>
	<p>大湫宿お休み処</p> <p>7月の営業日</p> <p></p> <p>5(日)・12(日)・19(日)・23(木)・24(金) 26(日)</p> <p>※当日(お急ぎ)の予約は丸森(☎0572-63-2455)へ お願いします。</p>
	<p>ご招待券あります 1枚(2名入館できます)</p> <p>特別展「美濃源氏 土岐一族の時代」</p> <p>期間:令和2年6月2日~9月6日</p> <p>場所:瑞浪市陶磁資料館</p>

	<p>オススメ!! 大湫分室の本</p> <p>『発見！ユダヤ人埴輪の謎を解く』 田中英道：著</p> <p>一般的には、日本文化は朝鮮や中国からやってきたと考えます。しかし、埴輪をみると、高い帽子に伸びた髭。これはユダヤ人の埴輪では？ 著者の考察による衝撃の古代史。</p>
	<p>青色回転灯防犯パトロール</p> <p>7月のパトロール予定者 7月上旬：玉置憲政：香山四一 7月下旬：渡邊隆吉：西山春義</p>
	<p>デマンド交通 利用者(大湫～日吉東部) 5月:23便 延べ 37名</p> <div data-bbox="1050 853 1418 1070" style="border: 1px solid blue; border-radius: 50%; padding: 10px; display: inline-block;"> <p>皆さん、たくさん利用 ください。</p> </div>

8月15日(土)に予定していましたが、『大湫夏祭り』は中止になりました。

大湫病院の納涼祭は中止になりました。


オオクテ・ツクルテの開催は中止になりました。

7月のクテの市

木曜日・・・2日・9日・16日・23日・30日
日曜日・・・5日・12日・19日・26日

9時から営業します。

安くて新鮮な野菜がイッパイです。



区長日記

六月に入り、公民館など市の施設の利用が解除されるとともに、学校も始まり徐々にではありますが新しい日常が返ってきました。六月十九日からは県境を跨ぐ人の移動も解禁され、観光産業にも少し明るさが戻りつつあります。

宿場町としての観光的側面から見ると、来訪者と笑顔で挨拶を交わす日常を期待しますが、万が一の事態に対応するため、しばらくは訪問者の特定ができるような応接に努めなくてはなりません。住民の皆様にも何かとご不便をおかけしますが、ご協力の程よろしくお願い致します。

三月には不執行となりました町民奉仕作業「道づくり」も、今回は各区とも実行に移していただきました。中には屋外での区総会を開催された地区もあつたようです。

コロナウイルスの猛威は、現代人の価値観にも大きな変化を来たしており、都会に集中してきたこれまでの志向から、農村での生活を再評価する動きも始まって、テレワークや遠隔授業など、急速に技術革新が進められています。

三蜜を避け、空気のきれいな田舎で生活や仕事を行う大湫での暮らしをモデルとして、適切な定住人口を維持創造していこうではありませんか。

時まさに「大湫町総合振興計画策定事業」を若手のワーキングチームが取り組んでくれています。時代の流れを新鮮な感性でキャッチして、夢のある計画が策定されることを期待したいと思います。

足立

6月5日 区長会・幹事会

17日 パターゴルフ場・花の森役員奉仕作業

20日 転入対策委員会現地確認

21日 夏季奉仕作業

22日 連合自治会

23日 総合計画づくり高野教授打ち合わせ

24日 総合計画づくり検討会

26日 社会福祉協議会大湫支部総会

27日 瑞浪恵那道路道の駅検討会

28日 総合計画づくり高野教授座談会

令和二年七月行事予定

日	曜	予定
一	水	生活安全課出前講座 「リ・アップ」ひよも
二	木	クテの市
三	金	定例区長・幹事会
五	日	クテの市
六	月	財産区全員会議
九	木	クテの市
十	金	大湫小記念碑建立委員会
一	土	
二	日	クテの市
一六	木	クテの市
一九	日	釜戸小資源回収 クテの市
二二	水	おしゃべりサロン
二三	木	集まるう会（お茶会） クテの市
二六	日	モニタリング調査 クテの市
二九	水	青少年育成町民会議
三〇	木	広報委員会 クテの市

不燃ごみ7/7（火）：資源ごみ7/21（火）

編集後記

「お休み処が休んでいると無性に食べたくなるなあ」という声が聞こえてきました。待ちに待った営業再開です。五平餅やお団子を焼くおいしそうな匂いがしてきます。表紙の写真からいい匂いを感じれるといいですね。

もう一つの写真は、公民館すぐ前の道路にある消火栓の蓋。知っている人も多いかもかもしれませんが、私は最近まで全く気づきませんでした。黄色の地模様に見える消火栓の蓋が、ここにも色鮮やかな消火栓の蓋があった事に驚きました。

M

編集発行：大湫町コミュニティ推進協議会 広報委員会
 令和2年7月1日 瑞浪市大湫町 422-1 TEL.0572(63)2360
<http://okute-shuku.jp/>